

双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 6/22 第12号 文責 林

学校教育目標 「自らの未来を切り拓く、心豊かな生徒を育成する」

チャレンジ体験を終えて（その3）

2年生は、5月31日（火）から6月3日（金）まで4日間の「生き方探究チャレンジ体験」を行いました。遅くなりましたが、2年生のチャレンジ体験を終えての感想を引き続き紹介します

私は、チャレンジ体験で行かせていただいた花園会館で、いろいろなことを学ばせてもらいました。その中で心に残ったことがいくつかありました。それは、生きていく中でとても大切になることだと思います。

まず一つ目は、「笑顔」の大切さです。自分が不安だったり、緊張しているとお客様にも伝わって、気を使わせてしまったりするからです。笑顔でいると、自然と相手も笑顔になってくれることが分かりました。フロントに立っている人は、笑顔ということを大切にしているのかなと思いました。館長さんの話の中では、お客様に笑顔と生きがいをもってほしい、という目標を聞きました。お客様に笑顔を届けるには、まず自分から笑顔にならないといけないという意味がこめられているのかなと思いました。体験中には、フロントで「ありがとうございました」と笑顔で言うと、相手も笑顔になって「ありがとう」と返してくださいました。その時が、一番うれしかったです。

次は、「一生懸命さ」と「気配り」の大切さです。ホテルと聞くとだいたいは宿泊するところというふうに思うと思います。私も体験するまでは、そう思っていました。でも、ホテルはそれだけではなく、道案内から荷物の預かりまでしていました。それを知った時はホテルなのに？と思ったけどそんなサービス、気配りをしているのは、とてもいいなあと思いました。フロントで荷物を実際に預らせてもらった時は、少しあわててしまったけどお客様は「ゆっくりでいいよ」とやさしく言ってくださいました。その時、一生懸命やろうとしていることが伝わったからだと思ってくれた方が言ってくれました。自分がかんばれば、それは相手にも伝わるということがわかりました。

最後に「見えなくてもいいに」ということの大切さです。客室のそうじを手伝わせてもらった時、リネンさん達はすみずみまできれいにふいたり、気をつかったりしていました。部屋の中では、ベッドのメイキングの仕方がとてもはやくて、それでもいいにしろをのぼしたりしていて、私には絶対できないと思いました。その後は、廊下ででっばりの上のホコリまできれいにふいたり、お客様には、見えないし、見られないようなことでも、一つ一つ気をぬかずにいいにしているところは、とてもすごいと思いました。客室は、数も多くそうじは大変なのによくできるなあと感心してしまいました。

私は、花園会館でたくさん大切なことを学ばせてもらうことができました。このことは、生きていく中ですべて大切にしていきたいと思いました。

